



平成29年度 特定健診の受診券を発送 人間ドック等健康診査利用のご案内

健康診査で年に一度は健康チェックを！

特定健康診査を受診しましょう

＜利用の事前申し込み不要、健診後に助成金を請求＞

北海道医師国保組合では、保健事業の一環として健康診査（入院人間ドック・簡易人間ドック・特定健康診査等）を受けられた方へ助成金を交付しております。

『特定健康診査』対象の方が「健康診査」を受診される際には、必ず特定健康診査の「基本的な健診項目」の受診をお願いいたします。

なお、人間ドックの検査項目の中に特定健康診査の「基本的な健診項目」がすべて含まれている場合は、改めて特定健康診査を受診される必要はございません。

1. 健康診査の種類

- (1) 入院人間ドック（1泊2日以上）
- (2) 簡易人間ドック（1日または半日を含む）
- (3) 特定健康診査

区 分		内 容	
特定健康診査	基本的な健診項目	質問（問診）	既往歴・喫煙など22項目
		身体測定	身長・体重・腹囲・BMI
		血圧	収縮期血圧・拡張期血圧
		血中脂質検査	中性脂肪 HDLコレステロール LDLコレステロール
		肝機能検査	GOT・GPT・ γ -GTP
		血糖検査	空腹時血糖 ヘモグロビンA1c（NGSP） （いずれかの項目の実施で可）
		尿検査	糖・蛋白
	詳細健診項目 （医師の判断による追加項目）	貧血検査	赤血球数・血色素量 ヘマトクリット値
		心電図検査	
		眼底検査（両眼）	

2. 利用者の範囲

本組合に加入の組合員および被保険者

㊦（社会保険、市町村国保などに加入の方は対象になりません）

ただし、「特定健康診査」については、40歳以上の被保険者の方が対象となります。

3. 利用する医療機関

- (1) 入院人間ドック 入院人間ドックを常設している医療機関
- (2) 簡易人間ドック 簡易人間ドックを実施している医療機関
- (3) 特定健康診査 特定健康診査を実施している医療機関

* (2)・(3)の医療機関には自己の開設または勤務する医療機関での受診を含むものとします。

4. 助成回数

健康診査に対する助成は、同一者に対し、同一年度内に原則1回とします。

ただし、別の医療機関で別の検査項目を受診した場合は、助成金限度額の範囲内であれば、この限りではありません。

5. 助成限度額

組合では、健康診査に要した費用を助成しますが、助成限度額を超えることはできません。

健康診査の種類	助成限度額		
入院人間ドック	組合員8万円 家族・准組合員（従業員）3万円		
簡易人間ドック	組合員5万円 家族・准組合員（従業員）3万円		
特定健康診査	基本的な健診項目		7,680円
	詳細健診項目	貧血検査	900円
		心電図検査	1,600円
		眼底検査	1,210円

1) 特定健康診査費用は、入院人間ドックおよび簡易人間ドックの助成限度額に含む。

2) 特定健康診査対象者(40歳から74歳)の方に特定健康診査費用分(7,680円)をお支払いできないケース

- ・脳ドックなど特定健康診査の「基本的な健診項目」が入っていない検査を受診された場合
- ・特定健康診査の「基本的な健診項目」が不足している場合（未実施の場合）

※後ほど特定健康診査の「基本的な健診項目」および不足項目を受診した場合（自己の開設または勤務する医療機関で検査をしていただいても差し支えありません。）は、特定健康診査費用分(7,680円)をお支払いいたしますので、ご請求ください。

6. 助成金の請求

- ①人間ドック等を受診し、組合員が組合へ請求→「健康診査助成金交付請求書」（様式第1号）
- ②健康診査実施医療機関が組合へ請求→「組合員の同意による健康診査助成金交付請求書」（様式第3号）
- ③自己の医療機関で特定健康診査項目のみ実施した場合→「特定健康診査（自家健診）振込口座届出書」

なお、支部（所属の郡市医師会および医育機関医師会）が一括して健康診査を実施する場合は、支部が組合へ助成金の請求をすることとなります。

※請求書用紙につきましては、次のものをご使用ください。

- ・『健康診査ガイドブック』にある請求書様式
- ・本組合のインターネットホームページに掲載の様式

組合ホームページアドレス <http://www.hokkaido.med.or.jp/kokuho/>

請求書への添付書類につきましては、5月下旬にお送りしております『健康診査ガイドブック』をご覧ください。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

連絡先：北海道医師国民健康保険組合：総務係
TEL 011-271-7471